



2020年度

東京音楽大学大学院

音楽研究科修士課程

学生募集要項

一般選抜入学試験

社会人特別選抜入学試験

外国人留学生特別選抜入学試験

目 次

I	試験概要 （一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通）	
	① アドミッション・ポリシー	1
	② 募集人員	1
	③ 試験場	1
	④ 選抜方法	1
	⑤ 日程一覧	2
	⑥ 試験科目	3
	⑦ 合格発表	9
	⑧ 問い合わせ先	9
II	一般選抜入学試験	
	① 出願資格	10
	② 出願手続	10
III	社会人特別選抜入学試験	
	① 出願資格	12
	② 出願手続	12
IV	外国人留学生特別選抜入学試験	
	① 出願資格	14
	② 出願手続	14
V	入学手続	
	① 入学手続	16
	② 学費	16
VI	指導教員	17
VII	教育課程	19
VIII	カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシー	24
IX	奨学金制度	25
X	成績開示	25
XI	個人情報の取り扱いについて	26

[綴込み] 出願書類（書式）

I 試験概要 (一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通)

1 アドミッション・ポリシー

音楽の専門的な研究に必要な基盤を備え、高度な技術、知見、研究能力を持ち、かつ社会の現況と今後の動静に対応できる柔軟な資質と強い意欲を持つ人材を求めます。

(カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは p.24)

2 募集人員

音楽研究科修士課程 70名 (社会人及び外国人留学生を含む)

専攻	研究領域	募集人員
器楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器 室内楽	36名
声楽	独唱 オペラ	21名
作曲指揮	作曲※ 指揮	5名
音楽文化研究	音楽教育 音楽学 ソルフェージュ 多文化音楽	8名

※社会の多様なニーズに即戦力として対応し得る人材を育成するため、2018年度より従来の現代音楽中心の「芸術研究」のほかに、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」が可能となっています。

3 試験場

東京音楽大学 (所在地: 〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1)

※試験場には必ず受験票 (共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー) を持参してください。

4 選抜方法

● 共通科目試験 (外国語・音楽史・面接)、専攻科目試験 (実技・作品・論文・口述) 及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

※社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜については、研究領域により共通科目試験 (外国語・音楽史・面接) の一部が免除されます。p.3「6 試験科目」を参照してください。

5 日程一覧

出願及び検定料振込期間

2019年10月1日（火）～10月9日（水）出願書類は郵送のみ受付（期間内必着）

試験期間

一般選抜及び社会人特別選抜：2019年11月20日（水）～11月22日（金）

外国人留学生特別選抜：2019年11月23日（土・祝）

※出願状況により、実技試験の日程が変更されることがあります。

専攻	研究領域	2019年11月20日(水)		2019年11月21日(木)	2019年11月22日(金)
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30	実技試験・面接	22日(金)～23日(土・祝) 実技試験・面接
		伴奏	小論文(ピアノ:社会人) 11:30～12:30		
	弦楽器	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30	実技試験・面接	実技試験・面接	
	管打楽器				
声楽	独唱	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30	実技試験・面接		
	オペラ				
作曲指揮	作曲	外国語 10:00～11:00	聴音・和声・ 小論文 13:30～		作品審査・口述試問
	指揮	音楽史 11:30～12:30			実技試験・口述試問
音楽文化研究	音楽教育	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30		小論文	口述試問 (実技試験を含む)
	音楽学				口述試問
	ソルフェージュ			ピアノ、管打、声楽 実技試験 (p.9 参照)	ソルフェージュ 実技試験・口述試問 弦実技試験 (p.9 参照)
	多文化音楽	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30 小論文 13:30～14:30	口述試問または 演奏実技を含む口述試問		

合格発表 2019年12月5日（木）15:30～12月7日（土）15:00
本学ホームページにて発表

入学手続期間 2019年12月6日（金）～12月16日（月）（期間内必着）

成績開示申請期間 2019年12月6日（金）～12月16日（月）

※次の領域の実技試験科目日程は出願状況により決定します。

鍵盤楽器研究領域（オルガン、チェンバロ）、室内楽研究領域

※試験日程、集合場所等の詳細は、2019年11月19日（火）15時に本学ホームページに掲載します。

6 試験科目

共通科目試験

- 外国語：一般選抜入学試験受験者及び社会人特別選抜の音楽学研究領域出願者対象（60分）
英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語の中から、1ヶ国語を出願時に選択。
語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類（電子辞書、携帯電話等）は持ち込み不可。
- 音楽史：一般選抜入学試験受験者対象（60分）
西洋音楽史及び日本音楽史。
- 面接：他大学からの一般選抜受験者、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜受験者対象

※特別選抜受験者の共通科目試験の免除について

社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の出願者は、以下のように共通科目試験が免除となります。

専攻	研究領域		社会人特別選抜		外国人特別選抜	
			外国語	音楽史	外国語	音楽史
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	外国語、音楽史、小論文*から1科目選択		免除	
		伴奏	免除		免除	
	弦楽器		免除		免除	
	管打楽器		免除		免除	
声乐			免除		免除	
指揮曲			免除		免除	
音楽文化研究	音楽教育		免除 ただし、研究業績・活動業績書並びにその資料を提出すること		免除 ただし、口述試問の中に基礎的な外国語（英語）と基礎的な音楽理論を含める	
	音楽学		実施	免除	免除 ただし、研究テーマに応じて口述試問の中に含める	免除
	ソルフェージュ		免除	免除	免除	免除
	多文化音楽		免除	免除	免除	免除

* 社会人特別選抜（ピアノ）で小論文選択の出願者は、①か②のどちらかを選び、記述してください。

- ① 18世紀後半から19世紀前半にかけて、ピアノという楽器の変遷に伴うピアノ音楽の推移について。
- ② クラシック音楽文化は21世紀にはどのように変遷していくと考えますか。

専攻科目試験

- 願書受付後、受験曲や志望する専攻の変更は認めません。
 - 演奏は暗譜で行ってください。ただし、当日、演奏箇所が指定される場合がありますので、試験会場まで楽譜をお持ちください。なお、鍵盤楽器研究領域（オルガン、チェンバロ）、同（伴奏）、管打楽器研究領域（打楽器）、室内楽研究領域及び音楽教育研究領域の演奏実技は暗譜の必要はありません。
 - 伴奏者、譜めくりを必要とする場合は、志願者が同伴してください。伴奏はピアノ伴奏のみとします。
- 伴奏者及び譜めくりは受験者の責任と負担で用意することとしていますが、遠隔地からの受験など、やむを得ない理由で伴奏者を用意できない場合は、入試課にご相談ください。伴奏者を紹介する場合があります。

伴奏時間・謝礼等

楽器等	伴奏時間		謝礼
	試験前日	試験当日	
弦楽器	60分	直前練習30分+本番	15,000円
声楽	40分	直前練習30分+本番	13,000円
管打楽器	伴奏者と要相談		

申込方法：入学願書の伴奏者氏名欄に「入試課に依頼」と記入し、出願書類に伴奏者用の楽譜を同封してください。受験票の伴奏者氏名欄は空欄のまま出願し、受験票返却後、伴奏者名を記入してください。

支払方法：弦楽器、声楽の受験生は願書受付後、本学財務課から振込依頼書が郵送されますので、期日までに振込をしてください。（管打楽器受験生は伴奏者と要相談）

※伴奏者が決定次第、願書に記載のメールアドレスにご連絡します。伴奏者の連絡先をお伝えしますので、2019年11月20日（水）の練習時間を決めてください。練習場所は本学練習室が使用できます。予約方法の詳細は受験票返却時の同封書類をご確認ください。

※上記以外の練習を希望する場合は、伴奏者と別途相談となります。

●専攻別課題表

器楽専攻

研究領域		課 題
鍵盤楽器	ピアノ	<p>1. J. S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集第 I・II 巻より任意の 1 曲</p> <p>2. 下記のエチュードより任意の 1 曲 ショパン、リスト（超絶技巧、バガニーニ大練習曲）、ラフマニノフ、ドビュッシー、スクリャービン、バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、メシアン、リゲティ、カプースチン</p> <p>3. バロック・古典・ロマン・近現代期より異なった 2 つ以上の時代から任意の 2 曲以上。楽章の抜粋可。</p> <p>※ 1～3 を合わせて 25 分以上 30 分程度にまとめ、記載した順序で暗譜で演奏すること。繰り返しは任意。</p>
	オルガン	<p>1. 次の (1) (2) のどちらかを選択すること。</p> <p>(1) J. S. バッハ：18 コラール集の以下の作品から任意の 1 曲 BWV 652, 653, 654, 659, 662, 663</p> <p>(2) フランス古典音楽のクロモルス・アン・タイユもしくはティエルス・アン・タイユの任意の 1 曲</p> <p>2. D. ブクステフーデ、N. ブルーンズ、V. リューベックの大規模な Praeludium または Toccata（ペダル付）から任意の 1 曲</p> <p>3. J. S. バッハ：トリオ・ソナタから任意の 1 曲（全楽章、繰り返し省略）</p> <p>4. J. S. バッハの以下の作品から任意の 1 曲 BWV 532, 535, 537～548, 550, 564, 566</p> <p>5. ロマン派、現代のオルガン作品から任意の 1 曲</p> <p>※試験当日以前にレジストレーションのための若干の練習時間を与える。</p> <p>※アシスタントを同伴する場合は、願書に記入すること。</p> <p>※オルガンにはスウェル・ペダル及びフリーコンビネーション装置はないので注意のこと。</p> <p>※ 1～5 のうち、数曲を当日指定する。</p> <p>※暗譜の必要なし。</p>
	チェンバロ	<p>1. 次の (1)～(7) のうち数曲を当日指定する。</p> <p>(1) バード、ブルまたはスウェーリンクによるファンタジアあるいは大型のパヴァーヌとガリアルド</p> <p>(2) フレスコバルディ：任意の作品</p> <p>(3) 任意のプレリュード・ノン・ムジュレまたはトンボー</p> <p>(4) D. スカルラッティ、またはソレルの任意の作品</p> <p>(5) W. F. バッハまたは C. P. E. バッハの任意のソナタ 1 曲</p> <p>(6) J. S. バッハ：6 つのイギリス組曲より任意の 1 曲</p> <p>(7) 自由曲 1 曲（但し、上記の 6 曲と様式の異なる作品）</p> <p>※暗譜の必要なし。</p> <p>2. 初見視奏</p> <p>(1) バロックの様式による小曲</p> <p>(2) 通奏低音</p>

1. 次の (1) (2) のどちらかを選択すること。

(1) 次の AB 両方を演奏する。

A. 次の①～③の中から 1つを選択

- ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ K.454 または K.526 (全楽章)
- ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたはチェロ・ソナタ (全楽章)
- ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (全楽章)
(ヴィオラとの共演でも可)

B. 次の歌曲の中から 1つを選択

- ①モーツァルト：クローエに K.524
- ②シューベルト：アンゼルモの墓で D 504 op.6, no. 3
- ③シューマン：『リーダークライス』op. 39 より no. 5「月の夜」
- ④ブラームス：セレナーデ op. 106, no. 1
- ⑤ヴォルフ：『アイヒェンドルフ歌曲集』より no.3「秘めた愛」
- ⑥R. シュトラウス：変わらぬもの op. 69, no. 3
- ⑦ショーソン：蜂雀 op. 2, no.7
- ⑧團伊玖磨：『わがうた』より「ひぐらし」

(2) 次の AB 両方を演奏する。

A. 次の①～④の中から 1つを選択

- ①ブラームス：
 - ・五月の夜 op. 43, no. 2
 - ・もし私が帰り道を知っていたなら op. 63, no. 8
 - ・愛の歌 op. 71, no. 5
 - ・甲斐なきセレナーデ op. 84, no. 4
 - ・ぼくらはさまよひ歩いた op. 96, no. 2
 上記の歌曲 (計 5 曲) を全曲演奏すること。順番は自由。

- ② R. シュトラウス：
 - ・セレナーデ op. 17, no. 2
 - ・矢車菊 op. 22, no. 1
 - ・黄昏の中の夢 op. 29, no. 1
 - ・愛を抱いて op. 32, no. 1
 - ・ばらのリボン op. 36, no. 1
 上記の歌曲 (計 5 曲) を全曲演奏すること。順番は自由。

- ③フォーレ：5つのヴェネツィアの歌 op.58 (全曲)

- ④團伊玖磨：五つの断章 (全曲)

B. 次の①～③の中から 1つを選択

- ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ K.454 または K.526 (第 1 楽章のみ)
- ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたはチェロ・ソナタ (第 1 楽章のみ)
- ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (第 1 楽章のみ)
(ヴィオラとの共演でも可)

※(1)(2)とも暗譜の必要なし。演奏順序、繰り返しは任意。

2. 次の A または B どちらかを選び、暗譜で演奏する。B の繰返しがある場合は任意とする。

A. ショパンの練習曲より 1 曲 (op.10-6, op.25-7 を除く)

B. モーツァルトまたはベートーヴェンの任意のソナタよりテンポの速い 1 つの楽章 (5 分程度)

3. 初見演奏 1 曲

弦楽器 ※繰り返しは任意 ※暗譜で演奏すること	ヴァイオリン	1. バガニーニ：カプリスより任意の1曲 2. J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意のフーガ 3. 任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァを含む） ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	ヴィオラ	1. J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲または無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意の1曲 2. 任意の古典派協奏曲の第1楽章（カデンツァを含む） 3. 任意の近現代協奏曲の第1楽章 ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	チェロ	1. ポッパー：40の練習曲 op.73より任意の1曲 2. J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲より任意のプレリュード 3. 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァを含む） ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	コントラバス	ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調 全楽章（グルーバー版。カデンツァを含む） ※ソロチューニング、オーケストラチューニングいずれも可。
	ハープ	1. ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 全楽章（グランジャンニー版） 2. 以下より1曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲1曲 ・サルツェード：古代様式による主題と変奏 ・グランジャンニー：狂詩曲
	クラシックギター	1. J. S. バッハ：リュート組曲より任意のプレリュード 2. ヴィラ＝ロボス：エチュードより1曲 3. 任意のギター協奏曲より任意の1楽章

管打楽器	管楽器 (全楽器共通)	20分から30分程度の任意の独奏曲。時代様式の異なった複数の曲が望ましい。 ※暗譜で演奏すること。
	打楽器	20分から30分程度の任意の独奏曲。様式の異なった複数の曲が望ましく、1曲はピアノ伴奏付であること。 ※暗譜の必要なし。 ※演奏する楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと（製本はしないこと）。

室内楽	<p>●1グループの構成は、2名以上6名以内とする。全員が各々願書を出し、受験曲目届出用紙に全員の氏名、楽器名等を記入すること。</p> <p>1. 20分程度の任意の曲（複数曲も可）。邦楽器については事前に問い合わせること。 ※暗譜の必要なし。</p> <p>2. 口述試問</p>
-----	--

声楽専攻

- いずれも暗譜で演奏のこと。
- 専攻内での併願可。希望者は願書に第1志望及び第2志望を記入すること。併願の場合、オペラ研究領域の課題で受験すること。

独 唱	<p>歌曲、オペラ、オラトリオより任意の4曲を提出し、うち3曲を以下の順で演奏する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 任意の4曲のうち、1曲を志願者が選択する。 2. 上記1を除く3曲より、当日本学が2曲指定する。 <p>※歌唱部分の指示があった場合は、それに従うこと。 ※全体で2か国語以上の作品を用意すること。</p>
オペラ	<p>任意のオペラアリアを4曲、任意の歌曲を2曲提出し、うち3曲を以下の順で演奏する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 任意のオペラアリア4曲のうち、1曲を志願者が選択する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一、二歩程度の範囲内で簡単な演技をつけること。 2. 上記1を除く3曲より、当日本学が1曲指定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・演技の必要なし。 3. 任意の歌曲2曲より、当日本学が1曲指定する。 <p>※歌唱部分の指示があった場合は、それに従うこと。 ※全体で2か国語以上の作品を用意すること。 ※助演なし。</p>

作曲指揮専攻

作 曲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜による作品提出^(注) <ol style="list-style-type: none"> ①管弦楽曲1曲（独奏、独唱を伴う協奏的作品も可） ②室内楽曲2曲（声楽を含む作品も可） <p>※2019年10月31日(木)17:00までに①②を入試課に提出すること（表紙に氏名を記入し、製本はしないこと。原譜のコピー可）。郵送の場合は簡易書留とし、提出期日までの必着とする。</p> <p>※①②とも原則として提出楽譜の大きさはA3サイズまでとする。 ※①②とも1作品につき800字程度の作品に関する解説を付け、作品と同時に提出。用紙は自由。</p> <p>(注)「応用研究」を受験する場合は、打ち込みを含む小編成の作品も可。</p> 2. 口述試問 予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。
指 揮	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴音：旋律（単旋律、二声及び四声）の書き取り （四声は木管四重奏の録音による） 2. 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱 3. 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い 4. スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲） 5. 指揮実技（演奏は2台のピアノによる） <ol style="list-style-type: none"> a) 初見曲 b) ブラームス：交響曲 第3番 ※bは暗譜で演奏（指揮）すること 6. 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏）※声楽を含まない 7. 和声（バス・ソプラノ課題 [中級程度] 90分） 8. 小論文（90分） 9. 口述試問

音楽教育	<ol style="list-style-type: none"> 筆記試験：音楽教育についての小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分) 口述試問 (任意の音楽実技試験を含む) ※実技の種類と楽曲は自由とし、演奏時間は5分程度とする(曲の途中で打ち切ることがある)。伴奏者が必要な場合は各自用意すること。暗譜の必要なし。
音楽学	<ol style="list-style-type: none"> 筆記試験：音楽学に関する小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分) 口述試問
ソルフェージュ	<ol style="list-style-type: none"> ソルフェージュ実技試験 <ol style="list-style-type: none"> 聴音(単旋律、対位旋律、四声体和声) 新曲視唱(各種音部記号による。ただしメゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く) ピアノによる初見演奏 実技試験 以下の①②よりいずれか一つを選択すること <ol style="list-style-type: none"> ①器楽または声楽：自由なプログラムによる8分以上15分以下の演奏(伴奏者が必要な場合は各自用意すること。出版されていない楽曲を演奏する場合は楽譜を提出すること) ②楽譜による作品提出：任意の編成による作品2曲以上提出(製本はしないこと)。2019年10月31日(木)17:00までに入試課に提出。郵送の場合は簡易書留とし、提出期日までの必着とする。原譜のコピー可。表紙に氏名を記入のこと。 ピアノ実技 上記2の①でピアノ演奏を選択しない者及び②に該当する者。 課題曲 J. S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集第I・II巻より任意の1曲(前奏曲とフーガ) 口述試問 ※2①、3は暗譜で演奏すること。
多文化音楽	<ol style="list-style-type: none"> 筆記試験あるいは実技試験 以下の①②よりいずれか一つを選択すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 筆記試験：多文化音楽研究に関する小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分) ② 実技試験： 次の実技のなかから、自由なプログラムによる15分から20分程度の演奏(伴奏者が必要な場合は各自用意すること)。 アイヌ伝統音楽(トンコリ)、インド音楽(シタール、タブラ)、インドネシア音楽(ジャワガムラン、ジャワ舞踊)、キルギス音楽(コムズ)、中国音楽(二胡、古箏)、邦楽(生田流箏曲、古典尺八)、馬頭琴(モンゴル)。演奏楽器についてはお問い合わせください。 口述試問

7 合格発表

2019年12月5日(木)15:30～12月7日(土)15:00に本学ホームページへ掲載します。
電話での問合せには応じません。

合格者には、合格通知書とともに、入学手続きに必要な書類を入学願書の「現住所」欄に記入された住所宛に郵送します。

8 問い合わせ先

【入試課】

直通電話：03-6455-2754 9:00～17:00(日曜祝祭日を除く)

Ⅱ 一般選抜入学試験

1 出願資格

次のうち、いずれかに該当する者

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者及び2020年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2020年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
- ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

2 出願手続

出願書類を一括し、本学所定の封筒を使用して、出願期間内に「簡易書留」により郵送してください。

なお、所定用紙欄に○が付いたものは綴り込みの書式を使用してください。一部の書式はホームページからのダウンロード（DL）が可能です。

所定用紙		出願書類等	注意事項
○	1	入学願書	氏名は戸籍と同一のこと。 タテ 4.5 cm × ヨコ 3.5 cm 願書受付日前 3 ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。
○	2	履歴書	音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
	3	卒業（見込）証明書	在籍していた全ての大学（学部、専攻科等）の証明書が必要です。（コピー不可）
	4	成績証明書	
○ (DL可)	5	研究要旨	入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。
○	6	受験曲目届出用紙 (実技試験受験者)	受験曲目を記入してください。打楽器受験者は楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表も提出すること。
○ (DL可)	7	予備質問書(1), (2) (作曲研究領域受験者)	質問の答えを記入してください。
○	8	検定料 (払込取扱票)	検定料 40,000 円（検定料振込期間は p.2 参照） 郵便局窓口で、本要項に綴り込みの「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」を使って納金してください。 振替払込請求書兼受領証は、入学試験が終わるまで大切に保管してください。

○	9	受験票	入学願書と同じ写真を貼付してください。 受験票は出願受付後、受験票返信用封筒にて、受験票、受験上の注意及びその他受験に必要な書類を2019年11月上旬に簡易書留速達で送付します。 試験日の一週間前になっても届かない場合は、氏名、研究領域、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして、入試課までお問い合わせください。
○	10	写真票	入学願書と同じ写真を貼付してください。
○	11	受験票返信用封筒	受験票返信用封筒に受信住所、郵便番号、氏名を明記し、672円分（簡易書留・速達郵便料）の切手を貼付してください。

【注意】

※外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合（2019年10月9日（水）まで）
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

Ⅲ 社会人特別選抜入学試験

1 出願資格

- ①～⑥のうちいずれかに該当し、かつ⑦の条件に該当する者
- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者
 - ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
 - ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者で22歳に達した者
 - ⑦ 本学大学院音楽研究科修士課程入学時に、既に社会人として学校・官公庁・企業等において一定の期間の職務経験を有する者

2 出願手続

出願書類を一括し、本学所定の封筒を使用して、出願期間内に「簡易書留」により郵送してください。

なお、所定用紙欄に○が付いたものは綴り込みの書式を使用してください。一部の書式はホームページからのダウンロード（DL）が可能です。

所定用紙		出願書類	注意事項
○	1	入学願書	氏名は戸籍と同一のこと。 タテ 4.5 cm × ヨコ 3.5 cm 願書受付日前 3 ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。
○	2	履歴書	音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
	3	在職証明書	学校、官公庁、企業等の所属長が発行する在職証明書（在職期間は問いません）。自営の場合は、確定申告の控えなど、納税に関する公的な証明書の写しを提出してください。
	4	卒業（見込）証明書	在籍していた全ての大学（学部、専攻科等）の証明書が必要です。（コピー不可）
	5	成績証明書	
○ (DL可)	6	研究要旨	入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。
○	7	受験曲目届出用紙 (実技試験受験者)	受験曲目を記入してください。打楽器受験者は楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表も提出すること。
○ (DL可)	8	予備質問書(1), (2) (作曲研究領域受験者)	質問の答えを記入してください。
○ (DL可)	9	研究業績・活動業績書 (音楽教育研究領域受験者)	関連書類を添付のこと。

○	10	検定料 (払込取扱票)	検定料 40,000 円 (検定料振込期間は p.2 参照) 郵便局窓口で、本要項に綴り込みの「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」を使って納金してください。 振替払込請求書兼受領証は、入学試験が終わるまで大切に保管してください。
○	11	受験票	入学願書と同じ写真を貼付してください。 受験票は出願受付後、受験票返信封筒にて、受験票、受験上の注意及びその他受験に必要な書類を 2019 年 11 月上旬に簡易書留速達で送付します。 試験日の一週間前になっても届かない場合は、氏名、研究領域、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして、入試課までお問い合わせください。
○	12	写真票	入学願書と同じ写真を貼付してください。
○	13	受験票返信用封筒	受験票返信用封筒に受信住所、郵便番号、氏名を明記し、672 円分 (簡易書留・速達郵便料) の切手を貼付してください。

【注意】

※外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合（2019年10月9日（水）まで）
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

IV 外国人留学生特別選抜入学試験

1 出願資格

- ①～⑥のうちいずれかに該当し、かつ⑦～⑨の条件の全てに該当する者
- ① 外国の大学を卒業した者及び 2020 年 3 月までに卒業見込みの者
 - ② 外国の大学において学士の学位を授与された者及び 2020 年 3 月までに取得見込みの者
 - ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年 3 月までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
 - ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者
 - ⑦ 入学時、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の資格を有すること。ただし「家族滞在」「日本人の配偶者」「定住者」「永住者」等の在留資格で出願することができる
 - ⑧ 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、生計を立てている成年者で、受験者の学費と一身上の一切の責任を負うことができる者であること
 - ⑨ 入学後、他の学生と区別なく授業・レッスン等を受けるのに十分な日本語能力（日本語能力試験 N1 または N2 程度）を有すること。ただし、音楽活動において卓越した才能や資質を有すると本学研究科が認めた場合は、本項に規定する日本語能力を問わないものとする

【注意事項】日本国籍を有しない者で、日本の大学を卒業した者（卒業見込みを含む）は、外国人留学生特別選抜の対象とはならない。（国費外国人留学生を除く）

2 出願手続

出願書類を一括し、本学所定の封筒を使用して、出願期間内に「簡易書留」により郵送してください。

なお、所定用紙欄に○が付いたものは綴り込みの書式を使用してください。一部の書式はホームページからのダウンロード（DL）が可能です。

所定用紙		出願書類	注意事項
○	1	入学願書	氏名は戸籍と同一のこと。 タテ 4.5 cm × ヨコ 3.5 cm 願書受付日前 3 ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。
○	2	履歴書	音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
	3	在留カード等	外国人登録証明書（在留資格及び在留期間が明示されているもの）や在留カードの両面、またはパスポート（氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限及びビザ（査証）のページ）のコピーを提出してください。

	4	日本語学習経歴書	様式自由（本学における研究活動に十分な日本語能力を有することがわかるもの） 日本語能力試験N 1またはN 2の合格証がある場合はそのコピーを提出してください。
	5	卒業（見込）証明書	在籍していた全ての大学（学部、専攻科等）の証明書が必要です。（コピー不可）
	6	成績証明書	※外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限ります。
○ (DL可)	7	研究要旨	入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。
○	8	受験曲目届出用紙 (実技試験受験者)	受験曲目を記入してください。打楽器受験者は楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表も提出すること。
○ (DL可)	9	予備質問書(1), (2) (作曲研究領域受験者)	質問の答えを記入してください。
○	10	検定料 (払込取扱票)	検定料 40,000 円（検定料振込期間は p.2 参照） 郵便局窓口で、本要項に綴り込みの「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」を使って納金してください。 振替払込請求書兼受領証は、入学試験が終わるまで大切に保管してください。日本国外から送金する場合は、最終ページを参照してください。
○	11	受験票	入学願書と同じ写真を貼付してください。 受験票は出願受付後、受験票返信封筒にて、受験票、受験上の注意及びその他受験に必要な書類を 2019 年 11 月上旬に簡易書留速達で送付します（国外在住者には別途連絡します）。 試験日の一週間前になっても届かない（連絡がない）場合は、氏名、研究領域、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして、入試課までお問い合わせください。
○	12	写真票	入学願書と同じ写真を貼付してください。
○	13	受験票返信用封筒	受験票返信用封筒に受信住所、郵便番号、氏名を明記し、672 円分（簡易書留・速達郵便料）の切手を貼付してください（国外在住者は不要）。

【注意】

※外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限ります。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

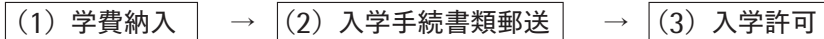
※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合（2019年10月9日（水）まで）
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

V 入学手続

1 入学手続

入学手続の流れは以下の通りです。



(1) 学費の納入・期間

2019年12月6日（金）から12月16日（月）までに学費を納入するとともに、下記書類を入試課に郵送してください。

※学費の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

※上記の期間内に手続を完了しない者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。

(2) 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書（本学所定の用紙。第一・第二保証人連署）
- ② 住民票（3ヶ月以内のもの）
- ③ 学生証用写真（カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm）
- ④ 保健調査票（本学所定の用紙）
- ⑤ 受験票
- ⑥ その他本学が提出を指示したもの

下記の者は、2020年3月27日（金）までに証明書を提出してください。学士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかに入試課にご連絡ください。

- ・2020年3月卒業見込者：卒業証明書及び成績証明書
- ・学位授与機構に学位授与申請中の者：学位授与証明書

※詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

(3) 入学許可

手続完了の者には、直ちに入学許可書を交付します。

(4) 入学辞退

入学を辞退するときは、2020年3月30日（月）11：30までに入試課に申し出てください。入学金を除いた納付金を返還しますので、下記期間内に財務課で所定の手続を行ってください。

返還申込期間：2020年3月24日（火）～3月30日（月）（土日祝は除く）

（連絡先：財務課 03-6455-2747）

※室内楽研究領域はグループ全員が入学できなかった場合は、合格は取り消しとなります。

2 学費

納入方法	入学金※ (入学時のみ)	授業料 (年額)	施設維持費 (年額)	後援会入会金※ (入学時のみ)	後援会費 (年額)	計
全納	350,000 円	1,180,000 円	220,000 円	10,000 円	10,000 円	1,770,000 円
分納	春学期	350,000 円	590,000 円	220,000 円	10,000 円	1,180,000 円
	秋学期	—	590,000 円	—	—	590,000 円

※本学の学部卒業者は入学金 170,000 円。後援会入会金は免除とします。（本学の学部卒業者は合計 1,580,000 円）

* オペラ研究領域は、修士演奏オペラの実演に要する経費の一部負担として、2年次の授業料納付時（4月）に別途 50,000 円の納入が必要です。

* 複数就学者授業料減免

同一生計の家庭から複数の学生が本学に就学している場合、授業料が 20% 減免となります。

VI 指導教員

2020年度大学院修士課程担当予定教員

専攻	研究領域	細専攻区分	教員名
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	石井 克典、岡田 敦子、ガーボル・ファルカシュ、小林 出、武田 真理、野島 稔、村上 隆、東 誠三、菊地 麗子、迫 昭嘉、鷺見 加寿子、播本 枝未子、三浦 捷子、若林 顕、小川 典子、石附 秀美、御邊 典一、川上 昌裕、倉沢 仁子、小高 明子、佐藤 俊、広瀬 宣行、石井 理恵、稲田 潤子、長川 晶子、川島 基、菊地 裕介、山口 優、米田 栄子 ほか
		オルガン	徳岡 めぐみ
		チェンバロ	渡邊 順生
		伴奏	山洞 智、広瀬 宣行、御邊 典一、腰塚 賢二、谷池 重紬子、ピアノ担当教員 ほか
	弦楽器	ヴァイオリン	荒井 英治、大谷 康子、神尾 真由子、木野 雅之、山口 裕之、海野 義雄、篠崎 功子、瀬戸 瑤子、藤原 浜雄、小栗 まち絵、原田 幸一郎、中村 静香、齋藤 真知亜、横山 俊朗 ほか
		ヴィオラ	店村 真積、百武 由紀、大野 かおる
		チェロ	菊田 雅治、ドミトリー・フェイギン、鈴木 秀美、毛利 伯郎 ほか
		コントラバス	星 秀樹、吉田 秀
		ハープ	篠崎 史子
		クラシックギター	荘村 清志、江間 常夫
	管打楽器	木管	小串 俊寿、工藤 重典、四戸 世紀、宮本 文昭、水谷 上総、中野 真理、松本 健司 ほか
		金管	アンドレ・アンリ、津堅 直弘、外園 祥一郎、呉 信一、水野 信行、新田 幹男 ほか
		打楽器	神谷 百子、菅原 淳、久保 昌一 ほか
	室内楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器	鍵盤楽器研究領域ピアノ担当教員 弦楽器研究領域担当教員 管打楽器研究領域担当教員

専攻	研究領域	教員名
声楽	独唱 オペラ	加納 里美、釜洞 祐子、菅 有実子、小森 輝彦、水野 貴子、横山 恵子、川上 洋司、佐野 成宏、秋山 隆典、阿部 純、立原 ちえ子、伊達 英二、星 洋二、緑川 まりほか
	作曲	糀場 富美子、西村 朗、藤原 豊、細川 俊夫、土屋 雄、原田 敬子、中橋 愛生 ほか
作曲指揮	指揮	田代 俊文、広上 淳一、増井 信貴、野口 芳久、石坂 宏、加納 明洋、坂本 和彦、三河 正典、三原 明人、米津 俊広
	音楽教育	渡辺 裕、下道 郁子、福田 裕美
音楽文化研究	音楽学	坂崎 則子、武石 みどり、藤田 茂、村田 千尋
	ソルフェージュ	糀場 富美子、伊藤 節子、日野原 秀彦、福士 則夫、荒尾 岳児、岡島 礼
	多文化音楽	糀場 富美子、武石 みどり、藤原 豊、加藤 富美子、小日向 英俊、滝田 美智子、福田 裕美 ほか

Ⅵ 教育課程 (変更の可能性あり)

修了要件：大学院に2年以上在籍し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文（専攻により研究作品若しくは研究演奏を加え、または修士論文に代えて研究作品若しくは研究演奏とする）の審査及び試験に合格すること。

器楽専攻

鍵盤楽器研究領域（ピアノ）

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	器楽実習 I	2				20	
	器楽実習 II		2				
	器楽実習 III			2			
	器楽実習 IV				2		
	楽曲分析演習 A	1					
	楽曲分析演習 B		1				
	楽曲分析演習 C			1			
	楽曲分析演習 D				1		
	器楽特殊研究 A	2					
	器楽特殊研究 B		2				
	器楽特殊研究 C			2			
	器楽特殊研究 D				2		
選択科目	室内楽実習 A	2				32	
	室内楽実習 B		2				
	室内楽実習 C			2			
	室内楽実習 D				2		
	伴奏法 A	1					
	伴奏法 B		1				
	伴奏法 C			1			
	伴奏法 D				1		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
	原典特殊研究 (伊) C			2			
	原典特殊研究 (伊) D				2		
	原典特殊研究 (仏) A	2					
	原典特殊研究 (仏) B		2				
	原典特殊研究 (仏) C			2			
	原典特殊研究 (仏) D				2		
	論文作成 I	2					
	論文作成 II		2				
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5~2					

鍵盤楽器研究領域（オルガン）

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	器楽実習 I	2				20	
	器楽実習 II		2				
	器楽実習 III			2			
	器楽実習 IV				2		
	楽曲分析演習 A	1					
	楽曲分析演習 B		1				
	楽曲分析演習 C			1			
	楽曲分析演習 D				1		
	器楽特殊研究 A	2					
	器楽特殊研究 B		2				
	器楽特殊研究 C			2			
	器楽特殊研究 D				2		
選択科目	室内楽実習 A	2				32	
	室内楽実習 B		2				
	室内楽実習 C			2			
	室内楽実習 D				2		
	伴奏法 A	1					
	伴奏法 B		1				
	伴奏法 C			1			
	伴奏法 D				1		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
	原典特殊研究 (伊) C			2			
	原典特殊研究 (伊) D				2		
	原典特殊研究 (仏) A	2					
	原典特殊研究 (仏) B		2				
	原典特殊研究 (仏) C			2			
	原典特殊研究 (仏) D				2		
	論文作成 I	2					
	論文作成 II		2				
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5~2					

鍵盤楽器研究領域（チェンバロ）

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	器楽実習 I	2				20	
	器楽実習 II		2				
	器楽実習 III			2			
	器楽実習 IV				2		
	楽曲分析演習 A	1					
	楽曲分析演習 B		1				
	楽曲分析演習 C			1			
	楽曲分析演習 D				1		
	器楽特殊研究 A	2					
	器楽特殊研究 B		2				
	器楽特殊研究 C			2			
	器楽特殊研究 D				2		
選択科目	室内楽実習 A	2				32	
	室内楽実習 B		2				
	室内楽実習 C			2			
	室内楽実習 D				2		
	伴奏法 A	1					
	伴奏法 B		1				
	伴奏法 C			1			
	伴奏法 D				1		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
	原典特殊研究 (伊) C			2			
	原典特殊研究 (伊) D				2		
	原典特殊研究 (仏) A	2					
	原典特殊研究 (仏) B		2				
	原典特殊研究 (仏) C			2			
	原典特殊研究 (仏) D				2		
	論文作成 I	2					
	論文作成 II		2				
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5~2					

鍵盤楽器研究領域（伴奏）

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	器楽実習 I	2				20	
	器楽実習 II		2				
	器楽実習 III			2			
	器楽実習 IV				2		
	楽曲分析演習 A	1					
	楽曲分析演習 B		1				
	楽曲分析演習 C			1			
	楽曲分析演習 D				1		
	器楽特殊研究 A	2					
	器楽特殊研究 B		2				
	器楽特殊研究 C			2			
	器楽特殊研究 D				2		
選択科目	器楽実習 A	1				32	
	器楽実習 B		1				
	器楽実習 C			1			
	器楽実習 D				1		
	室内楽実習 A	2					
	室内楽実習 B		2				
	室内楽実習 C			2			
	室内楽実習 D				2		
	伴奏基礎演習 A	1					
	伴奏基礎演習 B		1				
	伴奏基礎演習 C			1			
	伴奏基礎演習 D				1		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
	原典特殊研究 (伊) C			2			
	原典特殊研究 (伊) D				2		
	原典特殊研究 (仏) A	2					
	原典特殊研究 (仏) B		2				
原典特殊研究 (仏) C			2				
原典特殊研究 (仏) D				2			
論文作成 I	2						
論文作成 II		2					
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5~2					

弦楽器研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数				
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計			
必修科目	器楽実習 I	2				20				
	器楽実習 II		2							
	器楽実習 III			2						
	器楽実習 IV				2					
	楽曲分析演習 A	1								
	楽曲分析演習 B		1							
	楽曲分析演習 C			1						
	楽曲分析演習 D				1					
	器楽特殊研究 A	2								
	器楽特殊研究 B		2							
	器楽特殊研究 C			2						
	器楽特殊研究 D				2					
	選択科目	室内楽実習 A	1						32	
		室内楽実習 B		1						
室内楽実習 C				1						
室内楽実習 D					1					
オーケストラ実習 A		2								
オーケストラ実習 B			2							
オーケストラ実習 C				2						
オーケストラ実習 D					2					
弦楽合奏 A		1								
弦楽合奏 B			1							
弦楽合奏 C				1						
弦楽合奏 D					1					
ポピュラー音楽特講 A		2								
ポピュラー音楽特講 B			2							
原典特殊研究 (英) A		2								
原典特殊研究 (英) B			2							
原典特殊研究 (英) C				2						
原典特殊研究 (英) D					2					
原典特殊研究 (独) A		2								
原典特殊研究 (独) B			2							
原典特殊研究 (独) C				2						
原典特殊研究 (独) D					2					
原典特殊研究 (伊) A		2								
原典特殊研究 (伊) B			2							
原典特殊研究 (伊) C				2						
原典特殊研究 (伊) D					2					
原典特殊研究 (仏) A		2								
原典特殊研究 (仏) B			2							
原典特殊研究 (仏) C				2						
原典特殊研究 (仏) D					2					
論文作成 I		2								
論文作成 II			2							
論文作成 III				2						
他の研究領域開設科目			0.5 ~ 2							

管打楽器研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数				
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計			
必修科目	器楽実習 I	2				20				
	器楽実習 II		2							
	器楽実習 III			2						
	器楽実習 IV				2					
	楽曲分析演習 A	1								
	楽曲分析演習 B		1							
	楽曲分析演習 C			1						
	楽曲分析演習 D				1					
	器楽特殊研究 A	2								
	器楽特殊研究 B		2							
	器楽特殊研究 C			2						
	器楽特殊研究 D				2					
	選択科目	室内楽実習 A	1						32	
		室内楽実習 B		1						
室内楽実習 C				1						
室内楽実習 D					1					
オーケストラ実習 A		2								
オーケストラ実習 B			2							
オーケストラ実習 C				2						
オーケストラ実習 D					2					
吹奏実習 A		1								
吹奏実習 B			1							
吹奏実習 C				1						
吹奏実習 D					1					
ポピュラー音楽特講 A		2								
ポピュラー音楽特講 B			2							
原典特殊研究 (英) A		2								
原典特殊研究 (英) B			2							
原典特殊研究 (英) C				2						
原典特殊研究 (英) D					2					
原典特殊研究 (独) A		2								
原典特殊研究 (独) B			2							
原典特殊研究 (独) C				2						
原典特殊研究 (独) D					2					
原典特殊研究 (伊) A		2								
原典特殊研究 (伊) B			2							
原典特殊研究 (伊) C				2						
原典特殊研究 (伊) D					2					
原典特殊研究 (仏) A		2								
原典特殊研究 (仏) B			2							
原典特殊研究 (仏) C				2						
原典特殊研究 (仏) D					2					
論文作成 I		2								
論文作成 II			2							
論文作成 III				2						
他の研究領域開設科目			0.5 ~ 2							

室内楽研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数				
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計			
必修科目	室内楽実習 I	2				20				
	室内楽実習 II		2							
	室内楽実習 III			2						
	室内楽実習 IV				2					
	楽曲分析演習 A	1								
	楽曲分析演習 B		1							
	楽曲分析演習 C			1						
	楽曲分析演習 D				1					
	室内楽特殊研究 A	2								
	室内楽特殊研究 B		2							
	室内楽特殊研究 C			2						
	室内楽特殊研究 D				2					
	選択科目	器楽実習 A	1						32	
		器楽実習 B		1						
器楽実習 C				1						
器楽実習 D					1					
オーケストラ実習 A		2								
オーケストラ実習 B			2							
オーケストラ実習 C				2						
オーケストラ実習 D					2					
弦楽合奏 A		1								
弦楽合奏 B			1							
弦楽合奏 C				1						
弦楽合奏 D					1					
吹奏実習 A		1								
吹奏実習 B			1							
吹奏実習 C				1						
吹奏実習 D					1					
ポピュラー音楽特講 A		2								
ポピュラー音楽特講 B			2							
原典特殊研究 (英) A		2								
原典特殊研究 (英) B			2							
原典特殊研究 (英) C				2						
原典特殊研究 (英) D					2					
原典特殊研究 (独) A		2								
原典特殊研究 (独) B			2							
原典特殊研究 (独) C				2						
原典特殊研究 (独) D					2					
原典特殊研究 (伊) A		2								
原典特殊研究 (伊) B			2							
原典特殊研究 (伊) C				2						
原典特殊研究 (伊) D					2					
原典特殊研究 (仏) A		2								
原典特殊研究 (仏) B			2							
原典特殊研究 (仏) C				2						
原典特殊研究 (仏) D					2					
論文作成 I	2									
論文作成 II		2								
論文作成 III			2							
他の研究領域開設科目		0.5 ~ 2								

声楽専攻

独唱研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	声楽実習 I	2				16	
	声楽実習 II		2				
	声楽実習 III			2			
	声楽実習 IV				2		
	歌曲分析演習 A	2					
	歌曲分析演習 B		2				
	歌曲分析演習 C			2			
	歌曲分析演習 D				2		
選択科目	声楽特殊研究 1 A	1				32	
	声楽特殊研究 1 B		1				
	声楽特殊研究 1 C			1			
	声楽特殊研究 1 D				1		
	声楽特殊研究 2 A	0.5					
	声楽特殊研究 2 B		0.5				
	声楽特殊研究 2 C			0.5			
	声楽特殊研究 2 D				0.5		
	声楽特殊研究 3 A	2					
	声楽特殊研究 3 B		2				
	声楽特殊研究 4 (英) A	2					
	声楽特殊研究 4 (英) B		2				
	声楽特殊研究 4 (独) A	2					
	声楽特殊研究 4 (独) B		2				
	声楽特殊研究 4 (仏) A	2					
	声楽特殊研究 4 (仏) B		2				
	声楽特殊研究 4 (伊) A	2					
	声楽特殊研究 4 (伊) B		2				
	声楽特殊研究 4 (日) A	2					
	声楽特殊研究 4 (日) B		2				
	重唱特別演習 A	1					
	重唱特別演習 B		1				
	重唱特別演習 C			1			
	重唱特別演習 D				1		
	オラトリオ研究 A	1					
	オラトリオ研究 B		1				
	合唱実習 A	2					
	合唱実習 B		2				
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
原典特殊研究 (英) C			2				
原典特殊研究 (英) D				2			
原典特殊研究 (独) A	2						
原典特殊研究 (独) B		2					
原典特殊研究 (独) C			2				
原典特殊研究 (独) D				2			
原典特殊研究 (伊) A	2						
原典特殊研究 (伊) B		2					
原典特殊研究 (伊) C			2				
原典特殊研究 (伊) D				2			
原典特殊研究 (仏) A	2						
原典特殊研究 (仏) B		2					
原典特殊研究 (仏) C			2				
原典特殊研究 (仏) D				2			
論文作成 I	2						
論文作成 II		2					
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5 ~ 2					

オペラ研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	声楽実習 I	2				16	
	声楽実習 II		2				
	声楽実習 III			2			
	声楽実習 IV				2		
	オペラ総合実習 A			2			
	オペラ総合実習 B				2		
	オペラ分析演習 A	1					
	オペラ分析演習 B		1				
	オペラ分析演習 C			1			
	オペラ分析演習 D				1		
	オペラ特殊研究 A	2					
	オペラ特殊研究 B		2				
	オペラ特殊研究 C			2			
	オペラ特殊研究 D				2		
	コレペティ演習 A	0.5					
	コレペティ演習 B		0.5				
コレペティ演習 C			0.5				
コレペティ演習 D				0.5			
オラトリオ研究 A	1						
オラトリオ研究 B		1					
合唱実習 A	2						
合唱実習 B		2					
ポピュラー音楽特講 A	2						
ポピュラー音楽特講 B		2					
原典特殊研究 (英) A	2						
原典特殊研究 (英) B		2					
原典特殊研究 (英) C			2				
原典特殊研究 (英) D				2			
原典特殊研究 (独) A	2						
原典特殊研究 (独) B		2					
原典特殊研究 (独) C			2				
原典特殊研究 (独) D				2			
原典特殊研究 (伊) A	2						
原典特殊研究 (伊) B		2					
原典特殊研究 (伊) C			2				
原典特殊研究 (伊) D				2			
原典特殊研究 (仏) A	2						
原典特殊研究 (仏) B		2					
原典特殊研究 (仏) C			2				
原典特殊研究 (仏) D				2			
論文作成 I	2						
論文作成 II		2					
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5 ~ 2					

作曲指揮専攻

作曲研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	作曲実習 I	2				16	
	作曲実習 II		2				
	作曲実習 III			2			
	作曲実習 IV				2		
	作曲演習 A	1					
	作曲演習 B		1				
	作曲演習 C			1			
	作曲演習 D				1		
	作曲特論 1 A	1					
	作曲特論 1 B		1				
	作曲特論 2 A	1					
	作曲特論 2 B		1				
	作曲特論 3 A	1					
	作曲特論 3 B		1				
	作曲特論 3 C			1			
	作曲特論 3 D				1		
選択科目	作曲特論 2 C			1		芸術 16 応用 12	
	作曲特論 2 D				1		
	マルチメディア研究 1 A	1					
	マルチメディア研究 1 B		1				
	マルチメディア研究 2 A	1					
	マルチメディア研究 2 B		1				
	邦楽・古楽・民族楽器演習 I A	1					
	邦楽・古楽・民族楽器演習 I B		1				
	邦楽・古楽・民族楽器演習 II A			1			
	邦楽・古楽・民族楽器演習 II B				1		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
	原典特殊研究 (伊) C			2			
	原典特殊研究 (伊) D				2		
	原典特殊研究 (仏) A	2					
	原典特殊研究 (仏) B		2				
	原典特殊研究 (仏) C			2			
	原典特殊研究 (仏) D				2		
	論文作成 I	2					
	論文作成 II		2				
	論文作成 III			2			
	他の研究領域開設科目		0.5 ~ 2				

指揮研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I 春期	II 秋期	III 春期	IV 秋期	小計	合計
必修科目	指揮実習 I	2				16	
	指揮実習 II		2				
	指揮実習 III			2			
	指揮実習 IV				2		
	指揮演習 A	2					
	指揮演習 B		2				
	指揮演習 C			2			
	指揮演習 D				2		
選択科目	指揮楽書特殊研究 I A	2				32	
	指揮楽書特殊研究 I B		2				
	指揮楽書特殊研究 II A			2			
	指揮楽書特殊研究 II B				2		
	音楽理論 A	0.5					
	音楽理論 B		0.5				
	音楽理論 C			0.5			
	音楽理論 D				0.5		
	スコアリーディング A	0.5					
	スコアリーディング B		0.5				
	スコアリーディング C			0.5			
	スコアリーディング D				0.5		
	ポピュラー音楽特講 A	2					
	ポピュラー音楽特講 B		2				
	原典特殊研究 (英) A	2					
	原典特殊研究 (英) B		2				
	原典特殊研究 (英) C			2			
	原典特殊研究 (英) D				2		
	原典特殊研究 (独) A	2					
	原典特殊研究 (独) B		2				
	原典特殊研究 (独) C			2			
	原典特殊研究 (独) D				2		
	原典特殊研究 (伊) A	2					
	原典特殊研究 (伊) B		2				
原典特殊研究 (伊) C			2				
原典特殊研究 (伊) D				2			
原典特殊研究 (仏) A	2						
原典特殊研究 (仏) B		2					
原典特殊研究 (仏) C			2				
原典特殊研究 (仏) D				2			
論文作成 I	2						
論文作成 II		2					
論文作成 III			2				
他の研究領域開設科目		0.5 ~ 2					

音楽文化研究専攻

音楽教育研究領域

Table with columns for 履修区分, 授業科目, 単位数 (I春期, II秋期, III春期, IV秋期), 修了要件単位数 (小計, 合計). Rows include 必修科目, 選択必修科目, and 選択科目.

音楽学研究領域

Table with columns for 履修区分, 授業科目, 単位数 (I春期, II秋期, III春期, IV秋期), 修了要件単位数 (小計, 合計). Rows include 必修科目, 選択必修科目, and 選択科目.

ソルフェージュ研究領域

Table with columns for 履修区分, 授業科目, 単位数 (I春期, II秋期, III春期, IV秋期), 修了要件単位数 (小計, 合計). Rows include 必修科目, 選択必修科目, and 選択科目.

多文化音楽研究領域

Table with columns for 履修区分, 授業科目, 単位数 (I春期, II秋期, III春期, IV秋期), 修了要件単位数 (小計, 合計). Rows include 必修科目, 選択必修科目, and 選択科目.

Ⅷ カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシー

カリキュラム・ポリシー

●器楽専攻

- ・学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。
- ・時代や地域、演奏形態、楽器の特性、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・2年次にはリサイタル形式の修士演奏を行います。

●声楽専攻

- ・学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。
- ・時代や地域、演奏形態、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。
- ・声楽にとって必要な外国語の能力を獲得し、日本語も含めた正しい発音、発声法、歌唱法に基づく芸術的な表現と言語能力を獲得します。
- ・オペラ研究領域では、朗読、立ち居振る舞い、パントマイム、バレエ等の身体表現を学び、舞台での実践力を修得します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・2年次には修士演奏を行います。

●作曲指揮専攻（作曲）

- ・自らの個性的な創作の基盤ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行うことにより、総合的な作曲能力の向上を目指します。
- ・最先端情報処理技術を探求し、進化し続けるマルチメディア環境を学び、その実践に取り組みます。
- ・2年次には修士作品を作成します。

●作曲指揮専攻（指揮）

- ・指揮者というものの存在意義を再認識し、高度かつ機能的な技法を学び、深い知識や教養の獲得を目指します。
- ・指揮者として自分を見つめ、自分に必要なことを自ら判断する能力を身につけます。

- ・指揮の技法・音楽的な知識・教養はもとより、広く人間同士のつながりが大切であることを学びます。
- ・2年次には修士演奏としてオーケストラを指揮します。

●音楽文化研究専攻（音楽教育）

- ・音楽教育に関わる専門的な知見を身につけ、研究能力と実践力を修得します。
- ・社会における様々な音楽文化活動の展開を可能にする幅広い知識を身につけ応用力を獲得します。
- ・音楽教育、音楽文化活動に関わる課題を設定し、修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（音楽学）

- ・音楽学研究に必要な方法論を追究します。
- ・演奏や教育、周辺領域を含む広範囲な視座の獲得を目指します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（研究者や教育者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・自分の問題意識を明確化し、それに基づいて修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（ソルフェージュ）

- ・楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の修得を目指します。
- ・指導法や教材作成など、ソルフェージュ教育に必要な能力を獲得します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（教育者や研究者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・各自の専門実技のさらなる修得に加えて、2年次には修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（多文化音楽）

- ・日本を含む世界各地の伝統的な音楽文化を理論と実技の両面から専門的に学びます。
- ・伝統的な音楽文化を生かした新しい音楽文化（作品、演奏、研究など）の創造を目指します。
- ・2年次には、理論研究に重点を置いた修士論文の作成、あるいは、実技研究に重点を置いた作品や演奏を通じた課題研究の作成により研究の成果をまとめます。

ディプロマ・ポリシー

大学院修士課程においては所定の単位を修得し、かつ以下に示す能力を身に付け、学位審査試験に合格した者に、修士（音楽）の学位を授与します。なお、学位審査試験は修士演奏・修士作品あるいは修士論文（一部専攻においてはこれらの組み合わせ）及び最終試験によって行います。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身に付け、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚を持ち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

IX 奨学金制度（東京音楽大学奨学金）

本学は、独自の奨学金制度を用意しています。詳細はお問合せください。

① 特別特待奨学生

在学期間の学費全額または理事会の定める額

② 給費奨学金

- ① 特別奨学生：当該年度の授業料を含む全学費相当額
- ② 準特別奨学生：年額 100 万円
- ③ 甲種奨学生：年額 30 万円

問い合わせ先 ①～② 学生支援課：03-6455-2756

[参考] 学費提携ローン金利補助制度（東京音楽大学後援会）

在学期間中の提携教育ローン金利補助（借入限度あり）

* 直接銀行に申請してください（三井住友銀行 池袋支店 03-3984-5151）

X 成績開示

修士課程入学試験の成績開示については、入学試験を受験して不合格であった者から開示請求があった場合、下記のとおり行います。

① 開示方法

申請書を受理した日から 30 日以内に、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

② 開示申請期間

2019 年 12 月 6 日（金）～ 12 月 16 日（月）

③ 開示の請求方法

受験票、返信用封筒（返信先を明記し、242 円切手を貼付した定型封筒）及び所定の申請書（後日ホームページで発表）を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。

XI 個人情報の取り扱いについて

1 個人情報の取り扱いについて

入学願書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考並びに入試の合否案内・入学手続の連絡を行うために使用します。

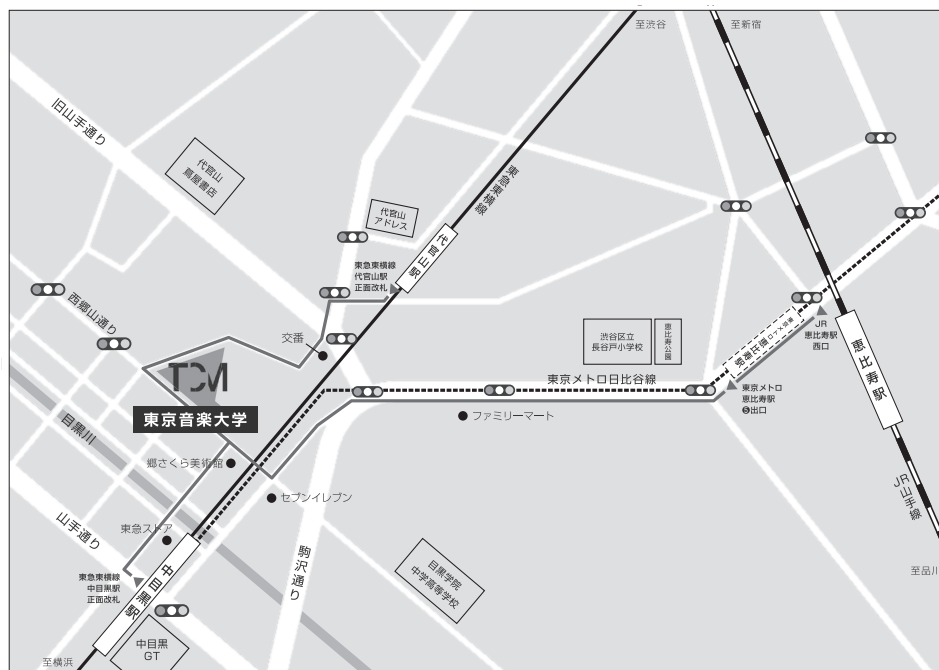
なお、合格された方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出いただく学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

2 個人情報の管理・保管について

本学は、受験生の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、受験生の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

【大学案内図】

中目黒・代官山キャンパス



- JR「恵比寿駅」西口より徒歩約14分
- 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分
- 東急東横線「代官山駅」中央口より徒歩約5分

TCM

Tokyo College of Music Graduate School

東京音楽大学大学院

音楽研究科 修士課程

- ・ 鍵盤楽器
- ・ 弦楽器
- ・ 管打楽器
- ・ 室内楽
- ・ 独唱
- ・ オペラ
- ・ 作曲
- ・ 指揮
- ・ 音楽学
- ・ 多文化音楽
- ・ 音楽教育
- ・ ソルフエージュ

Master of Music

- ・ Keyboard
- ・ Strings
- ・ Winds and Percussion
- ・ Chamber Music
- ・ Vocal Solo
- ・ Opera
- ・ Composition
- ・ Conducting
- ・ Musicology
- ・ Ethnomusicology
- ・ Music Education
- ・ Solfège

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

問い合わせ先 カリキュラム：03-6455-2753 教務課

入学試験：03-6455-2754 入試課

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/guraduate_school